

CWA NEWS



会長あいさつ



千葉ウィスコンシン協会
会長 茂木 友三郎

平成28年最初のCWA NEWSの発刊に当たりご挨拶申し上げます。

日頃より千葉ウィスコンシン協会の交流事業等に格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、千葉県とウィスコンシン州が姉妹県州の提携をしてから四半世紀を超えました。その間に千葉県側の交流窓口は県から当協会に代わり、関係各位の絶え間ないご努力により、当協会は幅広い分野で民間レベルの活発な交流活動を積極的に展開してまいりました。

市民レベルでの地域間の交流が徐々に広がり深まってきていると感じているところであります。

姉妹県州提携25周年の昨年は、10月に、千葉県から文化・芸術、教育及び農業の3つのグループで総勢20名の使節団を構成し、ウィスコンシン州を訪問しました。ウィスコンシン州においての使節団の行程には、25周年を記念した催しが多数企画されていたと聞き、使節団員として参加された方々には、思い出に残る印象深い交流になったのではないかと思います。

また、5日間にわたるホームステイでは、ホストファミリーの皆様から、心からのおもてなしを受けたと伺いました。ウィスコンシン州の皆様に深く感謝申し上げます次第です。

本年は、ウィスコンシン州から友好使節団を受け入れることにしておりますが、千葉県の素晴らしさを紹介し、友情と交流をさらに深めていただくことを心より期待しております。

結びに、当協会の交流事業等につきまして、今後とも当協会の役員、会員をはじめとする皆様方より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

元ALTからの現況報告

*日本語は紙面の都合で意訳しました。

Hello CWA Members,

Happy New Year! I wish you the happiest of years with lots of good health, joy, and laughter. I miss all my friends in Japan and I look forward to visiting you all again someday.

I moved back to America in August of 2015, and I'm very happy to be home and spending time with my family and friends in Wisconsin. I love the winter, so I am really enjoying playing outside with my dog, going sledding, trying to cross-country ski, and snowshoeing. I missed having lots of snow while I lived in Japan, and now we have plenty. I love spending time out in nature, and Wisconsin is so great because we have four seasons to enjoy all different activities.

I live at home with my parents, my two brothers, Jake & Jens, and our dog and cat. We live very close to Lake Winnebago and the High Cliff State Park. My sister Mary lives in Madison, WI, and my brother Joe lives in Boston with his girlfriend. My hometown, Sherwood is close to Green Bay, so we are very big Packer fans and go to watch Packer games often!



Attending a Packers game in Green Bay, WI

I currently work as a nanny, where I take care of three children at their home. I take care of a 3 year old boy and twin girls who are 18 months. It's a good chance to enjoy the small moments in life and remember to laugh a lot. I also work as a doctor's assistant for my dad's business, Johnson Chiropractic Neurology.

In my free time, I often write, practice English calligraphy, do yoga, and go and lift weights at the gym. I am working to become a personal trainer in 2016. I do a type of exercise called Crossfit, which combines weight lifting, gymnastics, and calisthenics. It is very challenging, but going to workout is my favorite part of the day. I also like to travel. Since I moved back to America, I have been to Boston, Las Vegas, Louisville, and Boston again! I also travel to Northern Wisconsin and Upper Michigan quite often to see my relatives. Now that I am back home, it is really important that I visit my friends and family often, and not miss any chances to attend weddings, birthday parties, or just catch up with people that I have not seen in 4 years!

The really great thing about the Chiba-Wisconsin program is that I get to see other ALTs in America once we leave Japan. I love taking trips to Madison to visit Mary. I also saw Kristen and Kenyeh in Madison when they were home for Christmas vacation. Megan Burke and I will meet in Wisconsin Dells this winter. I'll be traveling to Montana to see Fred Lauer, his wife Chihiro, and their new baby (!) this summer.

My goals for the new year are to visit Japan again, take singing lessons, get my own apartment, study more Japanese, and take an art class. I also hope that some of you will be able to visit Wisconsin so I can show you around some of my favorite places in the world.

CWAの皆さん、こんにちは。

明けましておめでとうございます。この1年が皆さんにとって最も健康で喜びと笑いにあふれた年となることを願っています。日本の皆さんに会えなくてさみしいですが、いつか再び皆さんの許を訪れることを楽しみにしています。

昨年8月にウィスコンシンに戻り、家族や友達と過ごせてとても幸せです。冬が好きで、犬と遊んだり、ソリ滑り、クロスカントリー、雪靴歩きをしたりして楽しんでいます。日本にいた頃は雪がなくてさみしかったのですが、今は沢山あります。ウィスコンシンには四季があり、それぞれの季節に合った楽しみがあるので素晴らしいです。

私は、両親、2人の兄弟、犬と猫と一緒に住んでいます。家の近くには Winnebago 湖や High Cliff (高い絶壁) 州立公園があり、メアリーはマディソンに、弟の1人はガールフレンドとボストンに住んでいます。また、グリーンベイに近いので、よくパッカーズの試合を観にいきます。

たくさん笑うことを忘れないように、ささやかな出来事を楽しむように、18ヶ月の双子の女の子と3歳の男の子の子守をしています。また、父の仕事(ジョンソン・カイロプラクティック神経医院)で医者のアシスタントとしても働いています。

時間があるときは、大抵書き物をしたり、英語の飾り文字の練習や、ヨガ、ジムにいきウェイトリフティングをしています。2016年にパーソナルトレーナーになるよう取り組んでいます。Cressfit(重量挙げ、器械体操、柔軟体操の3つを組み合わせた運動)をしています。苦しい反面、この運動をしているときに、一日の中でお気に入りの時間です。旅行も好きで、アメリカの各地に行きました。4年間会わなかった友達や家族を訪ねたり、結婚式や誕生会へは必ず参加しています。

千葉県・ウィスコンシン州プログラムの素晴らしいことは、日本を離れたあとアメリカにいる ALT と会えることです。メアリーはもちろん、クリスマス休暇の時にはクリステンやケニアに会いました。メガンとはデルズ市で会うことになっています。また、夏にはモンタナ州でフレッドの家族と会うつもりです。

今年の目標は、日本で歌のレッスンを受け、日本語を学び、芸術の講習を受けることです。また、どなたかウィスコンシンを訪ねて来られたら、私が好きな場所を案内したいと思います。



Kate Johnson
(筆者)



Cross country skiing in Northern Wisconsin with my sister, Mary, and cousin

ウィスコンシン州への千葉県友好使節団派遣報告

平成27年度は、文化・芸術グループ、教育グループ及び農業グループの総勢20名がウィスコンシン州を訪問し、現地で多くの人々と交流を深めることが出来ました。

文化・芸術分野では、茂原市の笛の会「音澄(ねずみ)」と書家の10名でグループを構成し、ミルウォーキー地域の学校等を訪問して、篠笛の演奏と書道パフォーマンスを披露しました。

教育分野では、県立保健医療大学から3名が看護、リハビリ、歯科衛生等の学部を有する大学や病院等を訪問し、専門的な立場で交流を行いました。

農業分野では、酪農や施設野菜の農業に取り組む若者3名が、牧場や大規模農業の現場を訪問しました。

平成27年が千葉県とウィスコンシン州との姉妹提携25周年に当たることから、日程には Wisconsin-Chiba Inc. (ウィスコンシン・千葉委員会) によって記念の催しが企画され、友好使節団が参加しました。



キッコーマン・フーズ社ウィスコンシン工場において、Japanese White Silk Lilacを姉妹提携25周年の記念として植樹



2015年10月27日ウィスコンシン州議事堂にて

まず、キッコーマン・フーズ社のウィスコンシン工場を訪問した際には、同工場内において、Japanese White Silk Lilac (ライラック) の植樹式を行いました。また、今回の訪問で、ウィスコンシン州下院議会を傍聴する機会を得ました。Christine Sinicki 下院議員の出迎えを受け、係の案内で議場の傍聴席に入り、議場においては、使節団が紹介され、議員や傍聴席の皆さんからも拍手をいただき、印象に残るものになりました。

更に、International Crane Foundation では、American Whooping Crane(米国)とJapanese Red-crowned Crane(日本)の鶴各1羽を25周年記念事業として飼育してもらうことになりました。

そして、最終日のフェアウェルディナーの席において、ウィスコンシン州から千葉県に対して、友好使節団が州議会を訪問した2015年10月27日火曜日を姉妹州の日とする宣言書が、また Wisconsin-Chiba Inc. から千葉ウィスコンシン協会に対しては、“25th Anniversary Wisconsin Chiba Sister State Relationship 1990-2015”と刻まれた記念プレート (Black Walnut というウィスコンシン州に自生する黒胡桃の板) が、それぞれ贈呈されました。

今回の派遣では、田邊政裕団長をはじめ、各グループのリーダーや団員の皆様には、かなりハードな日程をこなしていただき、無事に成田空港に着くことが出来ました。改めてお礼申し上げます。

そして、団員を温かく受け入れて頂いたホストファミリー、訪問先の学校・大学・病院等の関係者、通訳やエスコートをしていただいた方々、そして、受入日程、姉妹提携25周年の催し等を企画、実施して下さった Wisconsin-Chiba Inc. の皆様には大変お世話になりました。ここに深く感謝いたします。

(CWA運営委員長 森山茂男)

Wisconsin-Chiba Inc.から千葉ウィスコンシン協会に送られた木製 (Black Walnutの板) の姉妹提携25周年記念プレート



2015年10月27日を姉妹州の日とするウィスコンシン州知事の宣言書



文化・芸術グループ

文化・芸術グループは、茂原ウイスコンシン文化交流実行委員会のご推薦により、茂原市から参加した篠笛の会「音澄(ねずみ)」の8名と書家、そのアシスタントに事務局2名を合わせた総勢12名でした。ミルウォーキー及び周辺の学校や高齢者、障害者などの施設を訪問しました。

多くの観衆にとって笛の調べに合わせ大きな紙に揮毫する書道パフォーマンスは初めてでしたが、大人にも小学生・高校生にも大変好評でした。音澄の皆さんは、会場ごとに演目の順番を工夫するなど観衆を惹き付け、沢山の拍手をいただきました。スタンディング・オベーションを得た公演もありました。公演の司会をされたお二人はパフォーマンスと司会の両方で緊張の連続だったと思いますが、しっかり役を果たされました。

グループのホストファミリーは平成26年に使節団員として千葉にいらしたGarlic Mustard Pickersの方々でした。茂原市の公演で顔合わせしていたので、懐かしい再会となりました。ホストファミリーと過ごした時間は楽しく、25周年記念の催しが含まれタフなスケジュールでしたが、彼らの温かいおもてなしに癒されました。

ウイスコンシン州の方々に参加された皆さんが今回の交流で得られた繋がりがさらに深まり、ウイスコンシン州と千葉県との交流のすそ野が広がっていくことを願っています。
(青木靖子、慶児聡子)

<団員>

鈴木信一、鈴木志津恵、竹村和枝、田畑和子、
逆井富美子、桜井由里、川瀬あゆみ、鈴木孝子
(以上、笛の会 音澄)

辻明美(書家)、
中澤美水(書家アシスタント)
青木靖子、慶児聡子(千葉ウイスコンシン協会)

<行程>

- 10/26 Indian Community Schoolにて公演
- Italian Community CenterにてFestival di Danza e Cultura(ダンスと文化の祭典)に出演
- 10/28 North Division High Schoolにて公演
- 10/29 Park View Elementary Schoolにて公演
- Kelly Senior Center にて公演
- 10/30 St. Ann Center for Intergenerational Careにて公演



Indian Community School



Italian Community Center



Italian Community Center



Indian Community School



North Division High School



North Division High School



St. Ann Center for Intergenerational Care



St. Ann Center for Intergenerational Care



アイリッシュパブ

文化・芸術グループ代表
鈴木 信一

文化・芸術グループは篠笛8名、書道2名に事務局2名を加えた12名で活動しましたが、多くの感動を味わうとともに同じ北半球に住むゆえの絆を実感してきました。

Indian Community Schoolはネイティブ・アメリカン4歳から14歳の子供が通う学校で、演奏後子供たちは「心」という漢字を不安げな手つきで書いていましたが、書家の辻さんから朱墨でマルや花マルをもらった時のうれしそうな顔は、日本人の子供とまったく同じでした。コマンチ族の笛を聞かせてくれましたが、素朴さが際立つ音色でした。昼食後、小学3年生の子供たちが1対1でビーズの飾り物の製作を教えてくれ驚きました。校内説明も上級生が堂々としていました。

街中にあるNorth Division High Schoolはアフリカ系の生徒の多い高校で、校長先生はプロレスラー並の体格でたくさん鍵を持っていました。入ると体格の良い生徒が迎えてくれ、壁には「YOUKOSO」と模造紙5枚ほどの文字が貼ってあるのを見て、心配は嘘のように消えていました。舞台では篠笛の高音部の音を吹き気持ちを集中させたところで演奏開始、大のりでした。昼食後生徒たちと一緒に美術の授業を受けました。

子供と大人のためのデイ・ケア・センターであるSt. Ann Center for Intergenerational Careでは、ハロウィーンパーティのトップに演奏し終了後施設内を見学しましたが、日本でも参考になると強く思いました。

Italian Community Centerでは、演奏を聴いて辻さんが書いた作品がその場でオークションにかかり、一瞬にして「オークション会場」に変えてしまうアメリカ人気質を鮮やかに見せられた気がしました。

篠笛のメンバーのホストファミリーは、昨年の交流使節団The Garlic Mustard Pickersのメンバーでした。持ち寄りパーティによる歓迎会を行ってくれたほか、アイリッシュパブでは独特の雰囲気の中で篠笛を聞いてもらい、日本文化の一端を示し得た気になりました。

帰りに立ち寄ったミシガン湖畔では、月が一筋湖面をオレンジ色に照らしていて、天空にはカシオペアが輝いていました。ホストファミリーと星座の話になり、互いに北半球に住むゆえ同じ星座を見ていたことに気づいた時、千葉とウイスコンシン州が直接繋がったような気がして、帰国してからも空を見上げる度に蘇ってくる感覚となりました。

私は英語で単語を言うだけでしたが、アメリカの子供も大人も「英語が喋れない人もいて当然」という対応をしてくれました。ホームステイでは献身的に対応していただき、この歳でこれほど素晴らしい経験が出来るとは思いませんでした。信頼を土台にした絆を実感しました。

教育グループ

教育グループは、県立保健医療大学の国際化、具体的には将来の教員や学生の交流を念頭におきながら2つの大学を訪問するとともに、州内の様々な保健医療系の施設を訪問しました。

Waukesha County Technical Collegeでは、平成26年度同大学の元学長と国際交流の担当者が県立保健医療大学を訪問していたこともあり、スムーズな交流が行われました。Concordia University Wisconsinでは、国際関係の担当者と面談を行い、田邊学長から県立保健医療大学の概要を説明して交流の可能性を探りました。

South Shore Aurora Health Care Centerは、周辺の高齢者福祉施設と協力し患者中心の高齢者医療を目指しています。また、Center for International Healthは、ミルウォーキーの保健医療系の機関が集まって、グローバル・ヘルスという理念のもと、世界に向けて様々なプログラムを実施しています。そのほか、Kelly Senior CenterやSt. Ann Center for Intergenerational Careといった地域の福祉施設を訪問し、文化・芸術グループのパフォーマンスを行って施設利用者と交流しました。

今回、大学のほかにも様々な保健医療分野の機関に触れることができ、ウィスコンシン州の保健医療システムの奥深さを実感することができました。（笹生 健司）

<団員>

千葉県立保健医療大学
田邊政裕(学長)
吉田直美(健康科学部歯科衛生学科教授)
大谷拓哉(健康科学部リハビリテーション学科理
学療法専攻講師)
笹生健司(千葉ウィスコンシン協会)

<行程>

10/26 Waukesha County Technical College
10/28 Concordia University Wisconsin
10/29 South Shore Aurora Health Care Center
Kelly Senior Center
Center for International Health
10/30 St. Ann Center for Intergenerational Care



コンピュータ制御高機能シュミレータ (WCTC)



Concordia University Wisconsin



South Shore Aurora Health Care Center



Waukesha County Technical College



Kelly Senior Center

交流活動



Center for International Health



St. Ann Center for Intergenerational Care



Miller Park



Holly Hills



教育グループ代表

田邊 政裕

(千葉県友好使節団団長)

平成27年10月24日から31までの8日間、米国ウィスコンシン州ミルウォーキー市を中心に文化・芸術グループ、教育グループ、農業グループの3グループと事務局からなる総勢20名がホームステイをしながら市民レベルでの交流を行いました。千葉ウィスコンシン協会(CWA)とWisconsin-Chiba Inc.(WCI)のメンバーの皆様による周到な準備と秩序だった引率、ホスト・ファミリーの皆様の温かいもてなし、キックマンフーズ、ウィスコンシン州議会等の誠意ある対応は使節団全員にとって忘れがたいものとなりました。関係の皆様改めて深く感謝いたします。

平成27年は千葉県とウィスコンシン州が姉妹州(県)となってから25周年となる記念すべき年であり、10月27日にはキックマンフーズを訪問し記念植樹を行いました。その後、州都マディソンにあるウィスコンシン州議会を訪問し、会議の冒頭で使節団全員が議員の皆さんに紹介され、25周年が出席者全員のスタンディング・オベーションにより祝されました。フェアウェル・ディナーでは、25周年を記念するScott Walker州知事署名のProclamation(宣言)が贈呈されました。ウィスコンシン州と千葉県がこれまで教育、文化、科学・技術等の分野で交流を深め、それを更に発展させていくことが宣言されています。

千葉県とウィスコンシン州の深い交流関係が千葉県、キックマンフーズ等多くの関係者のご尽力によって構築されてきたことに感心すると共に深く感謝する次第です。25周年を機会にこの友好関係がウィスコンシン州と千葉県の更なる発展に寄与するように、これまでの取り組みを振り返り、将来的により多くの県民に認知され、深化することを期待します。



ホストファミリーと

農業グループ

農業グループは、10月26日（月）から30日（金）の間、乳牛、肉牛の飼育や牧草等の飼料を生産する農場や、有機野菜等を中心に販売しているスーパーマーケット、ウイスコンシン大学ミルウォーキー校をはじめ、企業等を視察しました。県立農業大学校で農業を学んだ若い団員は、初めてのアメリカで、農業の生産現場や研究機関等で熱心に視察をしました。

訪問先が途中で変更になることもありましたが、結果的にはいろいろな施設を訪問することが出来ました。

その中で、やはり牧場で乳牛の肥育ケージや飼料のコーンや牧草については、アメリカの現場、特に、大規模なトラクターやハーベスター等の規模に興奮、視察後には、牧場内にあるオーナー家の食堂で、アメリカサイズの昼食を頂いて満足。

更に、Hunger Task Force Farmにおいても、広い農場にある温室内や果樹園では、専門的な質問をし、大規模な農業用機械の運転席に登っている様子を見ると、農業に対する高い関心と情熱を感じました。（森山 茂男）

<団員>

知久 将太（酪農家）
屋久 大介（施設野菜）
大重 寛嗣（施設野菜）
森山 茂男（千葉ウイスコンシン協会）

<行程>

10/26 Agro Biosciences（ベンチャー企業）
Milwaukee郡—UW Extension（体験型農場）
10/28 John & Caryn Sager（酪農用牧場）
Bishop Enterprise（肉牛・飼料用農場）
10/29 Outpost Natural Food（直売型スーパー）
Marquette大学（水稲研究室）
UW Milwaukee（Sandburg Garden）、他
10/30 Hunger Task Force Farm（生活支援用農場）



Milwaukee郡-UW Extensionにて



乳牛の子牛肥育ケージ



大規模農場で、トラクターの大きさを実感する



ベンチャー企業で研究開発の視察



Bishop家で昼食をいただく。サイズも大きい

交流活動



スーパーの野菜売り場の視察



Marquette大学の屋上にある水田用の研究施設



Sandburg Gardenにある温室内、栽培残渣を堆肥化



Hunger Task Force Farmの温室内で

農業グループ代表
知久 将太

農業グループは、3人ともホームステイ先が同じだった。ホームステイ先のTurtenwald家の息子さんAJは、私達と同年代のうえ、通訳も担当してくれており、とても仲良くなる事が出来た。

ホストファミリーには、言うまでもなく大変お世話になった。親戚の農場を見学させてもらったり、ショッピングに連れて行ってもらったり、寿司を食べに行ったり、予定にはなかった事をたくさん経験させてもらった。

ホストファミリーのRobynとAJには、改めてお礼と挨拶をするためにアメリカに会いに行きたいと思っている。

農場視察では、研究所、貸農園、牧場、直売所、ウィスコンシン大学など9ヶ所を視察した。

中でも直売所が興味深かった。直売所では日本とは違った売り方で販売されており、鏡を使った陳列棚、ミストを使って潤いを保つ方法、シリアルや穀物の量り売りなどが印象的だった。

また経営方針や組織構成が地域活性に繋がる自分達の知らない新しい形がそこにはあった。

最後に、千葉ウィスコンシン協会の友好使節団、初の農業グループとしてウィスコンシン州の農業を中心に学ぶことができたことを、心から感謝いたします。



Robyn (中央)、AJと農業グループの3人

広がる食文化交流のつどい・Thanksgiving Party

10月の「太巻き寿司で新任ALTを歓迎する会」に引き続き、11月28日(土)、千葉市生涯学習センターで「食文化交流のつどい・Thanksgiving Party」が行われました。県内の各高等学校に着任されているALTのみなさんと一緒にThanksgiving Partyの料理や飲み物を作り、楽しいひと時を過ごせたらと考えて計画しました。

当日は10名のALTを含め35名のみなさんが参加してくださいました。例年、ウイスコンシンでもこの時期に各家庭で楽しむことから、参加されたALTのみなさんも、この会を楽しみにしてくださっていました。参加者の中には幼稚園生を含めた親子連れや本年度、ウイスコンシンに派遣された方々もいらっしゃいました。

この日作られた料理と飲み物は全部で7種類でした。

Thanksgiving Partyではいずれも定番の料理と飲み物です。参加者は、それぞれ担当された場所でレシピを基にALTと一緒に作りました。

大きな七面鳥がテーブルの上に出てきた時には参加者が全員その前に集まり、歓声をあげました。食べ物を一緒に作って食べるのは誰にとっても楽しいことです。どのテーブルからも楽しい笑い声が聞こえてきました。甘酸っぱいアップルサイダーの匂いやオーブンから洩れてくる焼けた七面鳥の匂いなどで部屋中がいっぱいになりました。

2時間半ほどかかって調理が終わり、机の上にたくさんの料理と飲み物が並べられました。特に、こんがりと焼けた七面鳥は、とてもおいしかったです。肉を切り分けてもらって全員でいただきました。

2か月に亘って「太巻き寿司作り」と「Thanksgiving Partyの料理作り」を行い、食文化の交流をすることができました。この交流を通じて参加されたみなさんは、それぞれの食文化について見識を深め、理解を深めることができたのではないかと思います。参加して下さったみなさんに心から感謝します。ありがとうございました。



楽しかった一日・参加者全員で記念撮影



子供たちもALTと一緒に調理



七面鳥を切り分けます！



とてもおいしかったです！

参加して下さったみなさんに心から感謝します。ありがとうございました。

(参加費 会員1,000円、一般1,500円)

CWAからのお知らせ

平成28年度理事会
日にち 2016年5月31日(火)
場所 ホテルポートプラザちば

平成28年度総会及び交流会
日にち 2016年6月4日(土)
場所 ホテルプラザ菜の花
時間 総会: 11時から
交流会& 新任 ALT
フェアウェルパーティー: 12時から

詳しくは別途ご連絡します
ふるってご参加ください



CWAの活動に参加してみませんか

千葉ウイスコンシン協会では、会員の方に、イベント出展の企画、イベント当日のスタッフ、ウイスコンシン州使節団受入れの際の随行業務にご参加いただいております。会員の方で御興味のある方は、次のメールアドレスまでご登録をお願いいたします。

【kokusaig2@mz.pref.chiba.lg.jp】

【編集後記】

今回のメインは昨年10月24日から11月1日にかけてウイスコンシン州へ派遣された3グループ、20名の友好使節団による活動報告です。ウイスコンシン州の方々との交流を通じて多くの思い出に残る経験をしてきたと伺っておりますが、CWAでは今後も多くの千葉県民がこうした交流を通じて素晴らしい体験をしていただけるよう努力してまいります。

発行所：千葉ウイスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(公財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)